

石 弘之

(環境学者)

①『乾燥標本収蔵1号室—大英自然史博物館 迷宮への招待』(リチャード・フォーティ著、渡辺政隆ほか訳・NHK出版) ②『毛沢東の大飢饉』(フランク・ディケーター著、中川治子訳・草思社) ③『「持たざる国」の資源論』(佐藤仁著・東京大学出版会)

① 大英自然史博物館には迷宮のように膨大な標本と保管室が連なる。その歴史とそれを支える最高かつ好奇心むきだしの科学者集団の抱腹絶倒の物語。

② 十五年以内に鉄鋼生産を世界第二にという毛沢東の大躍進政策が大飢饉を引き起こす。農民は労働に駆り出されて食糧生産は激減し、森林が伐採されて環境の深刻な破壊をもたらした。そのための死者数を四五〇〇万人とも推定する。

③ 資源という言葉は国際政治・経済発展・紛争にまで登場する。日本は持たざる国を標榜して数々の戦争を誘導し、近年の海外進出の推進力にもなっている。日本人と資源の呪縛を考える絶好の書。